

地域密着型金融の取組状況 (令和5年4月～令和6年3月)

1. 基本的な考え方（経営理念）

当組合は昭和40年6月の創業以来、医業域信用組合として、組合員である開業医・勤務医の先生方に対し、相互扶助の精神を基本に、医業経営のアシスタントとなり、ひいては地域医療の発展に寄与することを経営理念としております。

2. 中期経営計画

(1) 計画期間

平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）

(2) 基本となる考え

『医療界のベストバンクを目指す』

強固な財務基盤の確立や顧客基盤の強化・拡大を背景として、先生方に的確かつ迅速な金融サービスを提供してお客さまの満足度向上を図ることにより、医療界におけるベストバンクを目指します。

(3) 計画のコンセプト

- ① お客さま第一主義の徹底
- ② プロ意識の追求
- ③ イノベーションの創造

3. 令和5年度に実施した取組について

- (1) 信用組合の経営基盤を強化するために、新規組合員の加入促進および既存組合員の利用度向上を目指し、利用分量配当制度を実施しました。
- (2) 開業資金や住宅資金をはじめマイカー、教育資金等、組合員のライフサイクルに応じたニーズに積極的に対応いたしました。
- (3) 令和6年能登半島地震による「地震被害に関する特別相談窓口」を設置しました。

4. 組合融資の現状

(1) 融資残高の推移

(単位：百万円、先)

	4年3月末	5年3月末	6年3月末
残高	6,369	6,875	7,547
年間増加額	△179	506	672
利用者数	257	268	282

(2) 令和5年度組合員貸出利用状況

(単位：件、百万円)

資金使途	件数		金額	
		前年比		前年比
年末・中元・納税	18	△6	59	△55
教育資金	8	1	34	8
診療所等設備	75	10	2,165	925
運転資金	7	△1	52	△47
他行肩代わり	8	5	153	28
合計	116	9	2,463	859

以上